

採択理由

プログラム名： 国際共同研究の推進
課題名： 次世代低環境負荷白色光源の開発
代表者名： 岡田 龍雄
所属機関名： 九州大学

コメント

本提案は、九州大学の開発による酸化亜鉛(ZnO)ナノ構造体創製および紫外発光素子作製技術と、インド工科大学マドラス校の開発による ZnO 白色蛍光体技術を融合して、低消費電力で十分に機能する、環境に優しい次世代型照明用光源の開発を目指すものである。課題の重要性、本提案の共同研究のレベルは共に高く評価される。また研究体制についても、研究に参画する各グループが互いに協力し、相補的にその役割を果たす体制になっており、アジア研究者の連携を強化するものと評価される。日本のオリジナルな研究を基にした提案であり、特に途上国における省エネルギーのための新たな技術として、その成果に期待がもたれる。

なお、課題実施に当たっては、成果の取扱いについてインド工科大学と十分に協議し、知的財産権上の問題が生じないよう留意されることを望む。また、将来的には政府間の取組に発展させることを意識し、そのシナリオを描きつつ実施されることが望まれる。